

平成23年度 神納中学校グランドデザイン

村上市
教育基本計画

教育目標
自ら学び 心豊かで たくましい生徒

「郷育のまち・村上」
市民標語

重点目標

- 真剣に学習に取り組む生徒 (知育)
- 協力し合って行動する生徒 (徳育)
- 最後まで頑張り抜く生徒 (体育)

学校評価

学力向上(知)

〈成果目標〉

- Web 問題で県平均と比較して1ポイント以内より上を各教科で6回以上取る。
- 3教科で基礎学力テストを実施して、100点満点で80点以上を合格として生徒の合格率を80%以上とする。

〈教育活動〉

- Web 問題のサポート問題を朝学習で全員に実施する。
- 基礎学力テストを年間15回以上実施して、不合格者には練習後再テストを行う。

研究主任を中心とした
学力向上プロジェクトチームの創設

- ・ P D C Aによる学校評価の実施
- ・ 学校関係者評価、生徒評価の実施
- ・ 生徒による授業評価・活動評価の実施
- ・ 学校評議員会

豊かな心をはぐくむ(徳)

〈成果目標〉

- 生徒間の人間関係が良好という肯定的評価が85%以上
- いじめ・不登校生徒の未然防止並びに現状改善

〈教育活動〉

- より良い人間関係を育成するための学習活動を年間10時間実施
- 生徒が自分の本音を書けるアンケートや職員振り返りチェックアンケートを実施する。

たくましく生きるための体力向上(体)

〈成果目標〉

- 体力テストの結果が8種目中4種目以上において県平均を上回る。
- 体力テストの数値が向上する。
- 生徒の90%以上が適切なブラッシングをしている。

〈教育活動〉

- 体育の授業において、走力・筋力・調整力の向上を目指し、個々の目的にあった基礎練習を継続的に行う。
- 生徒への運動への関心・意欲を高める課題を与えたり、興味を引き出すような資料を活用する。
- 専門家によるブラッシング指導を実施する。

教員評価制度

一人一人の教職員が、自分で重点的に取り組むことを定め、達成度を評価しながら教育活動を推進します。

研究主題

基礎学力の向上と活用力の育成を目指して
～生徒の学力実態に応じた
実効性のある授業改善～

神納中で大切にしている5つの事柄

- 確かな学力の向上
- 発表力・表現力の育成 (言語活動の充実)
- 豊かな心の育成
- いたわり合い、励まし合う人間関係の醸成
- 心身の健康の保持増進

- ・ しっかり学習
- ・ みんなで活動
- ・ 自分に挑戦

「ねらい」「目標」を明確にした
教育活動を実施します。

目標達成のための具体的な教育活動

学力向上

- 分かる授業の実施
- 基礎・基本の定着
- 学び方を学ぶための指導方法の工夫
- 個に応じた指導の展開
- 家庭学習と授業の連携
- 基礎学力テストと定期テストの連動
- Web 問題の確実な実施

自ら学び

- 体験的・問題解決的な学習の推進
- 職場体験学習の実施
- 郷育会議による地域に根ざした教育の推進
- 情報活用能力の育成
- キャリア教育の導入

豊かな心の育成

- いじめの根絶
- 不登校を出さない
- 中1ギャップの解消
- ソーシャルレニングの実施
- 道徳的体験活動の実施
- 月一で環境整備の日を設定し、みんなで活動
- 挨拶運動の実施
- ボランティア活動の実施

生徒指導の充実

- 基本的な生活習慣の定着
- 倫理観・規範意識の醸成
- 時間、約束を守ることの励行
- いじめ不登校の未然防止
- 教職員によるきめの細かい対応

健康・体力の増進

- 挑戦する心・我慢する心の育成
- 「体力づくり」の実施
- 目標を明確にした取組
- 食育の推進
- 部活動への積極的な参加
- 健康、環境への理解と実践
- 救急救命法の学習

小中連携の推進

- ・ 中学校区訪問
- ・ 神林地区校長会
- ・ 小・中連携学力向上
- ・ 郷育会議

生徒の実態

- * 明るくあいさつをする
- * 幼児的な面があるが、素直である
- * 家庭学習が定着していない

神納中学校の教育課題

- 家庭学習の定着
- 規範意識の向上
- 思いやりの心の育成

教職員・保護者の願い

- 自立心があり、想像力豊かな子ども
- 豊かな情操を身に付け、郷土を愛する子ども
- 勤労を尊び、率先して物事を成し遂げる子ども
- 気力・体力に富み、健康でたくましい子ども